

令和7年度 第5回 谷浜・桑取区地域協議会

次 第

日時：令和7年11月18日(火)午後6時30分～
会場：谷浜・桑取地区公民館 2階 大会議室

1 開 会

2 会長あいさつ

3 議 題

【自主的な審議】

・自主的審議について

4 そ の 他

・次回地域協議会

令和7年 月 日 () 午後6時30分～ 谷浜・桑取地区公民館

5 閉 会

令和7年度第5回 谷浜・桑取区地域協議会

自主的審議について

令和7年11月18日(火)

■ 様子を見ながら地域協議会として 関わっていくもの



ア. 伝統行事、史跡、文化の継承について

イ. 地域で行われている行事について

→10/25小中合同文化祭・11/8くわどり収穫祭・11/9ニュースポーツ大会・ガイドマップ巡り・11/16秋の城ヶ峰ウォーキング

ウ. 学校を取り巻く環境について

エ. 移住・空き家対策について

→上創研:地区別まちづくり推進事業・12/14板倉区見学

オ. くわどり湯ったり村について

→シンボル調査

ア. 伝統行事、史跡、文化の継承について

上越市
JOETSU CITY



イ. 地域で行われている行事について

- ・令和7年11月8日(土)10:00～ くわどり収穫祭



**くわどり
秋の収穫祭
2025**

**市民の森管理棟
へ行こう♪**

**特別イベント
開催！**

販売コーナー

採れたて秋野菜、山菜の塩蔵品、手作りこんにゃく、味噌、梅干、乾甘酒など

湯ったり村館内では、おやきなど地場食材を使った加工品販売あり。

お楽しみコーナー

* 輪投げ

* お菓子のつかみ取り

* 木の輪切りのサンキャッチャー作り

* 湯ったり村館内にキッズスペースあり

**湯ったり村
入浴料金特別価格！** 11/8 限定

大人 700円→600円
小人 350円→300円

※シニア料金は、シニアパスポート掲示で400円

各体験料：300～500円
・開催時間：10:00～16:00
・開催場所：くわどり市民の森管理棟

市民の森は、環境保全と安全確保のため園内への一般車両の乗り入れを禁止しています。
管理棟へは、湯ったり村と管理棟を往復する無料送迎バス「森のバス」をご利用ください。
(10時～15時間に運行)

～出店～
自家焙煎コーヒーの店 まるの屋

【主催】くわどり秋の収穫祭実行委員会
【事務局】かみえちご山里ファン俱楽部 025-541-2602
【共催】くわどり湯ったり村 025-541-2611
【協力】湘陵中学校



地域協議会委員間で共有しておきたいことを発言してください！

ア. 伝統行事、史跡、文化の継承について

イ. 地域で行われている行事について



9月24日(水)第3回地域協議会 意見

- ・城ヶ峰砦を活かして収益につなげる。地域外のファンの取り込み。
- ・草刈り整備に若い人にも参加してもらう仕掛けが必要。
- ・まだ残っている町内会の盆踊りの日程を共有し、他町内からの参加の輪を広げる。経験者がいるうちにやってみる。

10月17日(金)第4回地域協議会 意見

- ・月満夜の里神楽は大人が子どもに神楽を継承し、続いている谷浜・桑取区の誇れる財産。
- ・多くの人が訪れる機会で飲食販売等をすることで地域活動の原資とできないか。
- ・イベントの趣旨や実施団体の意向を尊重しつつ、行事を継続させるための資金・人材について地域内で話題にしていく。



▲10月31日 谷浜駅でハロウィンイベント



▲地域に人が訪れるることを願った活動

地域資源を活かした取組。地域外から訪れ、谷浜・桑取区を活用する例も

ウ. 学校を取り巻く環境について エ. 移住・空き家対策について



★上越市創造行政研究所 持続可能な地区別まちづくり推進事業

- ・令和8年4月頃に藤山先生の講演を予定
- ・今の40～50代が地域を持続させるための鍵になる。これからの地域について話し合いを始めるので、ぜひ40～50代の参加を呼び掛けたい。

→第4回地域協議会での意見
「もう少し具体的な内容を理解して、周囲に声がけしたい」

日 時	内 容
キックオフフォーラム 8月19日(火) 午後6時30分から 【会場】 板倉コミュニティプラザ 市民ホール	持続可能なまちづくりに向けた取組について ■藤山所長講演 ・人口安定化シナリオ、地元関係図の確認 ・町内会ヒアリング結果の共有、事例紹介
住民ワークショップ 【第1回】 9月17日(水) 午後6時30分から 【会場】 板倉コミュニティプラザ 市民ホール	地域の現状を把握する ■地元天気図作成 ①現状課題編 定住推進に向けて、地区の強み、弱み、 連携不足などの現状を「天気図」にまとめる
住民ワークショップ 【第2回】 10月6日(月) 午後6時30分から 【会場】 板倉コミュニティプラザ 市民ホール	地域の目指す将来像を考える ■地元天気図作成 ②課題解決編 課題を解決する地域ぐるみのつなぎ直しを 具体的に「天気図」上に表現する ■具体的に取り組む3本柱、分野別項目の検討
レゴワークショップ 10月中 会場・時間未定	地域の未来を「形」にしてみる ■レゴブロックを活用した子どもたちによる地域の未来の姿をつくる (板倉中学校)
住民ワークショップ 【第3回】 11月25日(火) 午後6時30分から 【会場】 板倉コミュニティプラザ 市民ホール	定住を実現するためのアイデアを出しあう 具体的に取り組む3本柱及び可視化した地区の 情報をもとに、分野別に取り組みを話し合い、 出された案をとりまとめる
成果発表会 12月14日(日) 午後1時30分から 【会場】 板倉コミュニティプラザ 市民ホール	地域の未来について語る 本年度の予測や分析、検討結果を報告。 地域住民と情報を共有するとともに 取り組みの発表と意見交換

12月14日(日) 板倉区 成果発表会 見学

＜内容(予定)＞

- ・板倉区の成果発表
- ・モデル地区(大島、浦川原、牧区)の活動報告
- ・藤山所長のミニ講演

谷浜・桑取区地区公民館に集合して
マイクロバスで移動予定

才. くわどり湯ったり村について



- ・地域住民自身が「湯ったり村を地域のシンボルとして守りたい」という意識を持つことが重要。

地域の声を
集める

ゆめ企画名
立に伝える

地域とゆめ
企画名立の
協働

- ・地域の思い出等、地域のシンボルであることを文字化する。
- ・まずは地域協議会内で意見出し ➡ 10/10地域協議会委員からの意見を集約
- ・地域協議会で「桑取会（くわどり湯ったり村応援隊）」に今の実情を聞いてみる。

➡ 10/27市と経営者で情報交換会実施

- ・これまで地域のシンボルとして利用してきたことを伝える
- ・これからも利用し続けるために意見を伝える

- ・地域とゆめ企画名立が同じ思いで、湯ったり村を谷浜・桑取区のシンボルとして守っていく



A.湯ったり村が地域にとってどれほど重要な存在か 整理する(歴史的背景・地域住民にとっての役割や利益)

＜歴史的背景＞

- ・1994年「明日の桑取を考える会」(地元有志約40人)発足
　地域資源研究会、農業研究会、郷土料理研究会を組織→上越市への働きかけ
- ・1999年4月上越市リフレッシュビレッジ事業「くわどり湯ったり村」オープン

- ・政治色の強い施設
- ・上越市の飲料水水源地、自然を守るためリゾート開発をストップさせ、地域振興のために作った施設。

＜地域住民にとっての役割・利益＞

- ・地域住民の交流の場、集いの場、拠り所
- ・利用すると知っている顔に会える
- ・コミュニケーションの場
- ・地元のいこいの場、懇親の場
- ・谷浜・桑取区のシンボルだと感じていない人もいる

- ・忙しい時に、家族で気軽に食事ができる
- ・気軽に食事や会合で利用できる
- ・親戚が帰省時に宿泊できる
- ・催事の利用
- ・温泉としての価値がある
- ・宿泊施設・食事処として安心して推薦できる
- ・町内行事で仕出しを頼めて、配達してくれる

地域が交流する場所

地域の頼れる飲食店・宿泊施設

- ・地域外の人に谷浜・桑取区を知ってもらえる
- ・桑取の豊かな自然を他地域の方々に認知していただく
- ・その土地の空気に触れ、人に出会い、暮らしを少し覗き見ることができる
- ・湯ったり村があるから谷奥まで行く

地域を地域外にPRする場

単なる温泉宿泊施設ではなく、地域内外の交流する場所

B.湯ったり村にまつわるエピソード

(湯ったり村があるからできしたこと/廃止されたらできること)

地域が交流する場

- ・ステージを利用して「馬」を披露した。
- ・四季折々の景色を楽しみ、あらためて地元の良さを感じる時間になる。
- ・小中学生の懇親にも利用。思い出の場所になっている。
- ・サロン教室の利用

- ・町内有志で毎月入浴とレストラン利用
(収益の足しになり、経営を継続してもらえばとの思い)
- ・中学校の同窓会で数回利用。出身地にこのような施設があると集まりやすい。実家へ顔を出す機会も増える。
- ・兄弟や親戚が帰省で利用。近くにこのような施設があることはありがたい。懐かしい人に出会うことも嬉しい。

地域の頼れる飲食店・宿泊施設

- ・地域活動の反省会・慰労会(食事・飲み会)を送迎付きでできる。反省会で交流し、次の地域活動につなげている。

地域を地域外にPRする場

子どもは思い出が作られ、大人は足を運ぶきっかけに。イベント後の反省会に利用。

C. 地域住民として望んでいること、地域ができること (これからも利用し続けるために…)



地域の頼れる飲食店・宿泊施設

- ・よく利用する飲み放題コースは毎回料理・酒が似ている
- ・料理や飲み物の提供時間がかかっている。場がしらける。
- ・営業日、営業時間のPR不足
- ・休館日が固定されていないため分かりにくい
- ・以前のような回数券は発行されるか

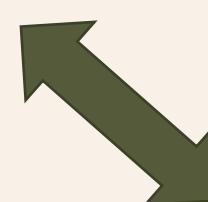
地域を地域外にPRする場

- ・「温泉」であることのPR
- ・挨拶の励行
- ・住民同士のなれあい接客が気になる
- ・存続のために、市内はもちろん県外への売り込み

地域が交流する場

経営者と地域の関係

- ・地域の行事やイベントとの連携
- ・地元住民との意見交換の場
　経営者が困っていることを共有してもらえば、地域で手伝えることがあるかもしれない



地域住民として手伝えることの整理

桑取会(くわどり湯ったり村応援隊)
に今の実態を聞いてみる

ゆめ企画名立との意見交換に向けて

地域住民にとっての湯ったり村	<p style="text-align: center;"><これまで></p> <p style="text-align: center;">A.地域住民にとっての役割</p> <p style="text-align: center;">B.湯ったり村があるからできたこと</p>	<p style="text-align: center;"><これから></p> <p style="text-align: center;">湯ったり村をどう使っていきたいか</p> <p style="text-align: center;">※ゆめ企画名立に伝える</p>
地域が交流する場所		
地域を地域外に PR する場		
地域の頼れる飲食店・宿泊施設		